



第 128 号

お待ち受けと

二十萬日不断念佛相続の開闢

かいびやく



宗務総長 前阪 良憲

祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり

(平家物語)

総本山西教寺の総門に入ると、カーンカーンと鐘の音が聞こえてきます。常念佛の鐘乃ち不断念佛の響きの鐘です。草木国土、悉皆成仏・仏性の世界です。

コロナ禍の為に一年延期になりました不断念佛相続十九萬日大法会がいよいよ十一月二日(水)から十一月八日(火)まで厳修されます。あと五ヶ月となりました。

総本山では大法会を迎えるに当たり、住職檀信徒各位に数年前から多額の浄財を喜捨して頂き、記念事業、出版事業等をすすめてまいりました。そしてこの一年間「念佛三昧の一年」運動を展開、各門末寺院住職・檀信徒、一帯となつて念佛相続修行をしてまいりました。その集大成が十一月二日からの大法会であります。

慈攝大師真盛上人が毎日念佛を唱え「佛を念ずること」が不断念佛と説いておられます。弥陀の光明を頂き慈悲によって毎日平安と安穩な生活が頂けます。

檀信徒のみなさま、不断念佛相続十九萬日大法会に総本山へご参拝くださるようお待ち申し上げます。そして、十一月八日に結願法要が終わりますと不断念佛相続二十萬日の法会の開闢となります。二十七、八年先となりますが、再び不断念佛相続二十萬日大法会を迎えます。毎日毎日念佛を唱え相続することが不断念佛です。そして、明るい平和な世の中になるようお祈り致します。

(滋賀教区 深光寺住職) 合 掌

天台真盛宗 ウクライナ和平声明

2022年2月から始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻に関し、天台真盛宗は全ての犠牲者に心から哀悼の意を表明するとともに、ロシアに対して武力行使の即時停止を強く求めます。

今も戦火がやまない状況は看過できません。

釈尊は、「この世の争いは、お互いに害ないあつても、すぐに破滅に至ることはないけれども、毒を含み、怒りが積み重なり、憤りを心にしっかり刻みつけてしまい、生をかね、死をかねて、お互いに傷つけあうことになる。善と悪とは、それぞれその報いを異にし、善は幸いを、悪は災いをもたらし、動かすことのできない道理によって定まっている」と説いています。

生きとし生きるもの全てが、平和で安心して暮らせる社会をつくるのが、仏教徒の使命です。

対立は対話で解決しましょう。いかなる理由があろうとも、他者の命を奪う暴力は認められません。

一日も早く武力行使を停止し、ウクライナの平和が回復されることを希求します。

令和 4 年 6 月 15 日

天 台 真 盛 宗

暑中お見舞い申し上げます。

長引く新型コロナウイルス感染症の為、各家庭内もとより国内世界の情勢は不安に包まれております。

一方ウクライナではロシアの侵攻によってウクライナ人が悲惨な状況となっております。全ての犠牲者に対して哀悼の意をささげロシアに対して武力行使の即時停止を強く求めます。

そこで、天台真盛宗はウクライナ和平声明を発表致しました。

宗祖と不断念佛

伊勢教区 成願寺山主 西山 眞澄

今秋厳修予定の「不断念佛相続十九萬日大法会」、本来ならば昨年奉修される大法会でしたが新型コロナウィルス感染拡大の影響で本年に延期となりました。

途切れることのない、絶え間ないお念佛を引継ぎ称えて十九萬日を迎えるという読んで字のごとくの法会であります。

では、いつを起点としての十九萬日になるのでしょうか？諸説あるとは思いますが真盛上人が今の本宗総本山西教寺に入寺された時を起点とします。不断念佛そのものは宗祖以前からあり、延暦寺第三代座主で最澄の弟子である慈覚大師円仁が比叡山の常行堂において日本で始めて修したと言われています。

その後浄土宗を開かれた法然上人等も相承され、もちろん宗祖も延暦寺の僧侶としてお念佛の教えを大切にし、多くの方々にその功德を説かれました。不断念佛から派生したものが期間を決めて不断念佛を称え続ける別時念佛でその一つが宗祖も実践された四十八日念佛会です。そして最も短い別時不断念佛はご本山の管長猥下や別格本山のご山主等が法要の最後に参詣者に対してお授けいただく「お十念」です。十九萬日のように一萬日を節目とし

て記念大法会を厳修することになったのは定かではありませんが、おそらく宗祖のお弟子さん、もしくは孫弟子さんが宗祖のお念佛に対する教えを忘れず、または再確認するために始まったことだと考えられます。

今秋の十九萬日大法会は一週間で終わる予定ですが不断念佛は終わります。十九萬日大法会の終わりは二十萬日へ向かっての始まりとなります。

また難しいことではありますが宗祖が奏進御法語の中で「御手に数珠を取らず、御口に声なくとも、御忘なきばかりが念佛にて候べく候」と説かれたように、いつも自分は阿弥陀様の光に守られているという佛恩感謝の気持ちを持ちながら日々生活することも不断念佛実践の一つの姿でもあろうかと思えます。

いづれにしても宗門挙げての十九萬日大法会、新型コロナウィルスの感染状況も定まらない中ですが、檀信徒の皆様におかれましては二十七年程に一度の大きな佛縁に結縁されることをお勧めします。



紙本墨画十念名号 (真盛上人)

福井教区『別時念佛会』法要に参詣して

福井教区 引接寺総代 吉田 義広

盛夏の候、天台真盛宗僧侶の方々、檀信徒の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、去る六月十日午後別格本山引接寺において、福井教区主催の『別時念佛会』が天台真盛宗総本山西教寺より武田圓龍管長猥下をはじめ内局・寺務所職員をお招きし、福井教区内住職及び檀信徒百余名の参列のもと厳肅に営まれました。

当日は恵心僧都源信上人の御祥当命日であり、午前には当寺の「恵心忌」法要が営まれ、引接寺としては記念すべき日となりました。

別時念佛会法要は、全ての参詣者が引接寺及び山内寺院が新調した木魚をたたき、称名念仏を唱える中、助導師市川隆成引接寺御山主及び内局・寺務所職員を御内陣にお迎えし始まりしました。引接寺でのこの様なお迎えは初めてであり、私自身大変感動致しました。

市川御山主の開闢法要から回向に続き、別時念佛会が始まりました。御念仏を唱える中、武田管長大導師がご登壇なされ、本堂で私たち共々数百遍御念仏をご唱和いただき、その声がひとつになりました。その後猥下から有り

難い「御十念」を頂き、別時念佛会の法要は終了しました。

その後、前阪良憲宗務総長の御挨拶、そして武田管長猥下から優しい御言葉で、真盛上人から越前の私たちに相続された御念仏について御親教を賜りました。当越前ご縁の猥下より頂戴しました数々の御教示に一同大感激の中、別時念佛会は全て終了の運びとなりました。

本年十一月挙行の『不断念佛相続十九萬日大法会』はコロナ禍ではありますが、つつがなく盛大に行われることを御祈念申し上げて私の「別時念佛会」経過報告と致します。

合掌

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏



広がるお念仏の声、鉦・木魚の音

西教寺 庶務部長 色井 秀幸

◎「念佛三昧の一年」運動展開中

前号の『宝珠』でお伝えしましたように、本年の「不断念佛相続十九萬日法要」に向け、昨年十一月から宗をあげて「念佛三昧の一年」運動を展開しています。その取り組みの模様をお伝えします。

総本山西教寺においては、昨年十一月二日から十二月二十日まで、西教寺としては百年ぶりとなる四十八日別時念仏会が催されました。四十八日間にわたって宗内からは多くの方々の参詣を得、西教寺参拝の観光客の皆さんも加わって、本堂には毎日六時間お念仏の音が響きました。四十八日間を通して武田管長猥下からは連日お十念とご法話を賜り、真盛上人ご在世の折もかくやと思わせる日々でありました。

また、例年は本堂で開かれている別時念仏会が、管長猥下ご下向による教区別別時念仏会として、昨年十月二十九日の伊賀教区西蓮寺を皮切りに順次営まれました。十一月十八日には伊勢教区西来寺にて、十二月二十日には滋賀教区・直轄教区の皆さんを本山西教寺にお迎えして、そして本年六月

十日には福井教区引接寺での法要と続きました。それぞれにご随喜いただいたのは教区内各寺院住職・総代の皆さんで、コロナ禍のもと参集人数を限つての実施でしたが、管長猥下ご親修の別時念佛とご法話に、今後の結集拡大の期待できる意義深い法要となりました。

一方、門末寺院においては、この運動での呼びかけに応えていただく形で、あらゆる法要の機会を通じてそれぞれ工夫をこらしながらお念仏に取り組んでいたところでした。「念佛三昧の一年」運動では、「称名日ごと」に六万課」とうたわれた真盛上人の故事に倣い年間二千二百万回のお念仏を目標に掲げていますが、本年六月末までに延べ二千万回を超えるお念仏の報告を受けています。その数字だけからも、各寺院での住職・教師、併せて檀信徒の皆さんの真摯な取り組みを伺い知ることができ、各所にお念仏の声、鉦・木魚の音が響く様子が思い浮かびます。

また、伊賀西蓮寺においては、本年五月十四日からは伊賀教区内各寺院の皆さんのご協力のもと、本山と同様に

四十八日別時念仏会が催されました。西蓮寺における四十八日別時念仏会は、明応四年（一四九五）真盛上人がお隠れになった際以来のこととなります。

「念佛三昧の一年」運動では、そうしたお念仏の機会を「不断念佛相続十九萬日大法会」のお待ち受け法要と位置付けています。この一年の中で、そうした場に値遇されたならば、そのご縁に因んで本年十一月の「不断念佛相続十九萬日大法会」にも是非お参りいただきますようお願い申し上げます。

※各法要の模様は、

YouTube・Instagram

ご覧いただくことができます。下のQRコードからアクセスして下さい。



OTSU.SAIKYOJI
Instagram



YouTube

◎「知られども南無阿弥陀仏、知れども南無阿弥陀仏」

この真盛上人のお言葉は、武田猥下がご親論の中でお示しをいただくとともに、前号の『宝珠』でもその趣旨をお説きいただきました。「念佛三昧の一年」運動を象徴するにふさわしい言葉として、ポスターやパンフレットに引用させていただいています。

鎌倉時代末期に兼好法師が記された『徒然草』の中に、日ごろの私たちにも当てはまるような、こんな逸話が載

っています。ある人がさる高僧に、「お念仏の時、眠くなってお勤めを怠ってしまいます。どのようにすればよいでしょうか」と尋ねたところ、「目が覚めたらば、またお念仏しなさい」と答えられたというのです。兼好法師は「たいそう尊いことだ」と評しています。

「知られども南無阿弥陀仏」、お念仏をしていても居眠りをしてしまうという自らの至らなさを認めたくえで、それでもなお愚直にお念仏にいそむこと、武田猥下は「とにかくにも南無阿弥陀仏」とお示しいただきました。これこそが私たちがまずは目指すべき姿ではないでしょうか。

真盛上人が始められた別時念仏会は、そうした凡夫である私たちが、一時お念仏に打ち込むための法要です。「念佛三昧の一年」運動のなか折に触れてのミニ別時念仏、そしてその集大成としての不断念佛相続十九萬日大法会、そうした場でのお念仏を通じて真盛上人のお意をお受けとめいただければと念じます。

そして「知れども南無阿弥陀仏」、真盛上人が「極楽もただちに現じて」と説かれた念仏三昧の世界、そこにはどのような景色が広がっているのでしょうか。いつの日かその景色を眺めてみたいものです。

—「念佛三昧の一年」運動事務局—

納涼
風鈴参道
通り抜け

ガラス風鈴一五〇〇個

6/25
土
9/19
月・祝

**8月の拝観時間
延長決定!**

・9:00～22:00 (拝観受付は21:30まで)
・ライトアップは19:00～22:00
(※朱印受付・売店は17時まで)

夕涼み 夏のライトアップ
～光りが織りなす**極楽の世界**～

※「びわ湖大津夏のライトアップ 西教寺 光の参道」
参道は無料エリア:主催びわ湖大津観光協会 同時開催

※天候等により予告なく中止になる場合があります。

発行所 天台真盛宗教学部
大津市坂本五丁目三十一
総本山西教寺内
電話 大津 (〇七七) 五七八・〇〇二三番代
印刷所 宮川印刷株式会社
大津市富士見台三十八
電話 (〇七七) 五三三・一二四二番

ランチ 西教寺特製
納涼 夏野菜そうめん



【場所】西教寺 食堂
・7/15～
・営業時間 11時～14時 不定休
【料金】1,100円(税込)
1日限定30食

大人も子供もオリジナル風鈴を作ろう
ガラス風鈴絵付け体験



絵付け用ペンやシールなどをご用意しております。
願い事を書いて風鈴棚に吊るし奉納できます。
もちろん家に持ち帰っても結構です。
【場所】西教寺 大本坊 休憩室
【料金】1個 1,500円(税込)

期間限定 特別ご朱印
風鈴参道 特別印



見開き(2ページ分)
【受 付】大本坊売店
【朱印料】600円